



昭和小だより

文京区立昭和小学校

No. 7

令和5年10月31日

校長 松本 竜太郎

大きな拍手を

校長 松本 竜太郎

木々の葉も、少しずつ色づき始める季節となりました。先月までの暑さが嘘のように、朝晩は、寒さも感じられる日が日ごとに増しています。

運動会という大きな行事を終え、子供たちは、また一つ成長をしました。そして、今は、来月の学習発表会に向けて、取組を開始している学年もあります。スポーツの秋から芸術の秋への変遷です。昭和小では、昨年度同様、演劇発表を3、6年生、音楽発表を2、5年生、展示発表を1、4年生で行います。日常の学習の成果をご覧いただき、子供たちを褒め讃えてください。

運動会開会式の校長の話で「子供たちの演技や競技が終わりましたら、ビデオや写真撮影をする手を休め、大きな大きな拍手をお願いします。」というお願いをしました。子供たちは、大きな拍手や声援をもらうことで、より達成感や成就感を味わうことができます。そして、それがさらなる成長にもつながります。今回の学習発表会においても同じです。発表が終わった後に、静かな状態と会場が割れんばかりの大きな拍手に包まれたときに感じる気持ちの違いは明白です。特に、体育館で発表を行う学年の保護者の皆様は、発表終了後には、子供たちの記録よりも、記憶に残るような大きな拍手をお願いします。展示発表学年の保護者の皆様は、鑑賞後には、ご家庭で温かい拍手を贈ってあげてください。

さて、11月は、「ふれあい月間」です。子供たちが、笑顔で学校生活を送るために、学校がいじめや不登校、その他の問題行動等の状況について点検を行います。そして、問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応につながるように、いじめアンケートや、心理検査 Q-U を実施します。また、日頃より生活指導夕会においても児童の状況等を教員全体が共通理解しています。今後も、子供たちが安心して生活できる環境を整えていきます。

インフルエンザが流行し、いくつか学級閉鎖を実施しました。今後も注意が必要です。学校では、手洗いやうがい等、今後も指導してまいります。ご家庭での健康管理につきましてもよろしく願いいたします。

最近、全学級で下校時に歩道を歩くときのマナーについて、指導をしました。友達と帰ると、つつい楽しくなって追いかけてこになったり、ふざけあったりして、危険な場面が見られることがあるようです。ご家庭でも指導し、もし、地域で見かけることがありましたら、声かけもお願いします。

～教室の窓から～ 図工 (学習発表会に向けて)

図工専科 大野 誠司

今年度も、学習発表会で図工作品を展示発表するのは、1年生と4年生になります。各自、平面作品1点、立体作品1点を展示する予定です。その他、昇降口や階段などに、鑑賞の順路に沿って、装飾的な作品も展示する予定です。

ある絵画の授業のことです。児童が、とてもうれしそうな顔で、「いいこと思いついたよ。」と絵を持ってきて、見せてくれました。「これ、見て。」児童は自分が描いた、画用紙の大きさからするとあまり目立たないくらいの、とても小さな星を指さしました。その星のことを聞くと、その児童はこの絵の中における星の重要性をうれしそうに説明してくれました。

児童の作品には、他の人があまり気にも留めないような細かい箇所にも児童の思いが込められています。図工作品は展示という発表形式になっています。できれば、一つ一つの作品の前に足を止めていただいて、子供のそういった思いを想像しながらじっくりと作品を見ていただければと思います。

